

韓国の薬剤師・医師制度、 および韓医学とは何か(2010年12月)

薬学部生命薬学講座
(臨床解析学分野)教授
三浦 雅一

韓国の薬学教育は20大学校、20薬学大学（韓国では大学＝universityが大学校、学部が大学に該当します）で行われています。薬学大学は、薬学科と韓薬学科の2つの学科があり、ともに現在は4年制薬学教育となっています。2011年度の入学者からは、本邦と同様に薬学科は6年制薬学教育（但し、韓国は予科2年、本科4年の計6年制度）となります。一方、医学教育は38大学校、39医科大学（医学部）があります。本邦同様に6年制教育（薬学教育同様、本邦のような一貫教育とは異なる）であり、医科大学医学科と韓医科大学韓医学科があります。薬学大学、医科大学および韓医科大学卒業後、韓国政府が施行する免許試験（いわゆる国家試験）合格者に各資格が与えられます（この制度は本邦と同様）。すなわち、国家試験合格後、薬学科卒業者（薬学士）には薬剤師（Pharmacist）、韓薬学科卒業者（韓薬学士）には韓薬剤師（Oriental Pharmacist）、医学科卒業者（医学士）は医師（MD：Medical Doctor）、韓医学科卒業者（韓医学士）には韓医師（OMD：Oriental MD）の資格がそれぞれ与えられます。

最大の特徴は、例えば「薬」の領域でしたら薬剤師および医師は西洋医学の薬剤については取り扱うことが可能ですが、東洋医学（韓医学）の薬剤（韓方薬：湯薬、エキス製剤、丸剤）を取り扱うことができません。逆に、韓薬剤師および韓医師は韓医学の韓方薬のみしか取り扱うことができません。国家試験制度そのものが、薬剤師及び医師では西洋医学と東洋医学では大きくその資格が分業化されています。本邦のように、薬剤師および医師であれば、西洋および東洋医学に関わらず薬物療法を行うことができません。また、病院組織についても同様であり、例えば大学病院ではそれぞれ大学付属病院と大学付属韓方病院に分類されています。これは一般の市中病院についても同様です（医院は西洋医学の診療所または病院であり、韓医院は韓方専門の診療所または病院ということでしょうか）。

さて、「韓医学とは何か」ということですが、韓医学は漢方医学とは異なります。韓医学は、19世紀末に、朝鮮時代の李齊馬（1837～1900年）という官吏が考案した理論であり、彼の基本文献である「東医寿世保元」（日本語的には東洋医学大全集でしょうか）は1984年に初めて書かれ、その後臨床体験に基づいて1900年までに改められ、彼の死亡後に弟子たちによって1901年に初めて栗洞契から出版されました。この医学書、「四象医学（または四象体質医学）」が原点です。四象医学は、体質を四つに分類（太陽人、太陰人、少太陽、少陰人）、し、各体質の生理と病理、治療、そして健康に暮す方法などを研究し、病気の治療や予防的側面を重視した学問です。

四象とは4つの象を表していて、象とは五臓（心臓、肺、脾臓、肝臓、腎臓）の機能活動が外面に現れる事を言います。例えば、韓医学では、脾臓は消化器系統の機能を代表するものであり、腎臓は泌尿生殖器と内分泌系の機能を代表しているものと考えれば良いと思います。また、四象医学の五臓のうち心臓は心（mind）で体（human being）全体を調節していて、他の四つの臓器（肺、脾臓、肝臓、腎臓）は別々の代謝機能を持つと考えられています。このように、臓器の丈夫さによって決められた体質の特異性によって、人の性格と食べ物の好み、格、かかりやすい病気などに差が生じる。すなわち、西洋医学のように病気の観点ではなく、人間の観点から病気に関わり、治療しようとして、個人

が持っている特性によって弱い臓器が異なり、病気の進行も異なり、薬に対する薬剤応答も異なるというのが四象医学の原点です。また、病気を治すための原則として、生涯健康を守っていくための養生法も示されています。この韓医学の診断(四象体質)・治療(韓医学での治療は主に、韓方薬・ハーブ薬、針、灸、アロマセラピー、瞑想：薬物治療以外は主に心身などの体質改善でしょうか)を行うのが韓医師、韓方薬(韓方薬・ハーブ薬)の調剤業務を行うのが韓薬剤師です。

本学で、西洋医学の基本である病態検査学(血液や尿などの臨床検査値から病気を解析し診断すること)の講義を行っている私には、大変奥が深い韓医学です。現在、韓国では、この韓医学を科学的に証明するため遺伝子レベルで解き明かす研究が進められているそうです。

本研究所の事業でもある、本学、慶熙大学、瀋陽薬科大学との3大学合同プログラムが来年は瀋陽薬科大学で開催されますが、機会がありましたら「中医学」の原点について触れてみたいと思います。